



地球のかおり

幻の湖水

浄土の世界かと思った。だが、これは現実の風景。ぞくぞくと鳥肌が立った。誤用表現だが、本当に鳥肌が立ったのだから仕方がない。この湖水はカナダ・バンフからジャスパーへ向かう途中にある。早朝、薄明かりの中、木々の

向こう側に湖水がかすかに見えた。少しずつ地球が温まるにつれ、眼前の光景が変化していく。久業流は連写はしない。自分が感じた一瞬をフィルムスケッチする。この一枚に悔いはない。

(夢絵作家 久業迎吉)

<http://kuraku.jp>

～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

いろいろ、心模様を記録している。このシーン、現実である。

ぞくぞく、鳥肌が立った。浄土の世界か、吸い込まれそう。出会えた幸せ。

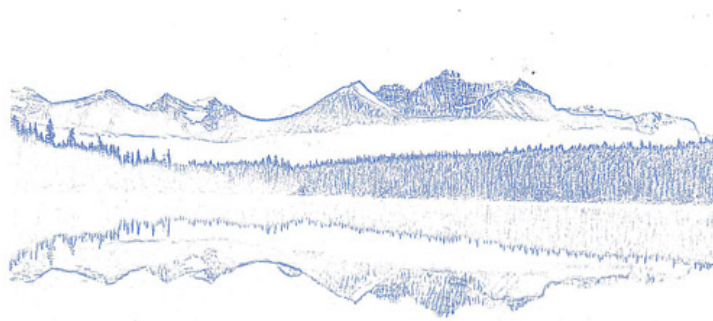
後の話だが、独り占めするのはもったいない。人にも見せたい。そんな感想を書いている。

同時に、このモチーフ、いろいろ表現できないだろうか。

記録画像は、**素材**。絵画はデフォルメできる。写真のままでいいものもある。

同じものを何枚もつくりたくない。オンリーワン。では、どうするか。

下記の表現は、パソコンのソフトにある。それでは面白くない。自称、心象アートの領域。



純^{こうぞ}楮^す、寒漉き和紙に表現。この和紙は、千年の耐久性、顔料は百年。

表情も面白い。この作品を**夢絵と命名**。大阪梅田、阪神百貨店の美術画廊での個展。

東京銀座4丁目、三越百貨店、美術画廊での個展、鎌倉芸術館、京都文化博物館
今は昔だが、京都ホテルオークラ5回、東京お台場・ホテル日航、大阪梅田マルビル2回、

京都祇園、東京銀座4丁目の鳩居堂、海外ボストンでの個展開催。

馬子にも衣装、額装も一流にと張り込んだ。**出会いの人脈**から、多くを**学んだ**。

今だから、言える。元経営者のビジネスマンの**夢絵作家**。お金のためにやりたくなかった。

変身、夢挑戦。精魂傾けたものを、手元に置いておきたかったことと、

お付き合いや、時間やお金、心身の健康、何しろ始めたのが、アフター、フィフティ。

寝る間もないほど、多忙だった。ビジネス時代の、二の舞になりそう。

人生は選択と決断の繰り返し。**心身健康最優先**。その後、講演の機会を得た次第。

心身健康だが、人生の持ち時間が、少なくなってきた。